

## **CV22オスプレイの、横田基地をはじめ、日本への配備の検討を直ちに止めることを日米政府に要求する決議（案）**

米国空軍が日本にある空軍基地にCV22オスプレイの配備を計画し、検討していることが明らかになりました。

昨年来、MV22オスプレイの横田基地への飛来・訓練に厳しく反対を表明してきた地元横田基地周辺自治体は、「寝耳に水」と米国空軍によるCV22オスプレイ配備計画の検討自体に激しく反発し、直ちに止めることを日本政府が米国政府に求めるよう要請しています。

しかし、すでに米国空軍は、沖縄の嘉手納基地を有力候補として検討してきたと言われていいます。ところが、沖縄にはすでに普天間基地にMV22オスプレイが配備され、日米合意に違反した激しい訓練が行われています。さらに追加配備もなされることから、県民の反対運動は激しく、沖縄へのこれ以上の配備は無理があると方向転換し、太平洋空軍傘下の第5空軍の拠点基地である横田基地が狙われることとなったのです。

常識的に見れば、巨大都市東京にある基地に、MV22オスプレイよりさらに危険率が高く、特殊部隊が激しい低空飛行訓練を繰り返すCV22オスプレイを配備することなど、検討の余地などあり得ません。

さらに、オートローテーション機能のないオスプレイは、日本の航空法では日本の空を飛ぶことが許されない機種です。それが日米地位協定によって米軍の無法がまかり通っているのであって、このような無法で危険な配備の検討は直ちに中止すべきです。

日本政府は、この件について公式には米国との協議を認めていませんが、MV22オスプレイの配備について、何年も沖縄県民に「そんな計画はない」とウソをつき続けたことから見て、到底信用できません。現に米太平洋空軍司令官は日米間での協議を公言しています。

私たちは、日本政府に対して、直ちに米国とのあらゆるレベルでの配備にかかわる協議を辞めることを要求します。

私たちは、米国政府に対して、人口密集地にある横田基地に、危険なCV22オスプレイの配備検討など直ちに止めることと、横田基地そのものを撤去することを要求します。

また、沖縄をはじめ日本全土でのMV22オスプレイの訓練も中止し、24機すべてを米国へ持って帰ることを要求します。

同時に、私たちは、横田基地周辺自治体の共同した日本政府への要請を支持し、日本政府が米国に向かって、「日本のどこにもCV22オスプレイを受け入れるところはない」との立場に立つことを強く要求するものです。

以上決議する。

2013年8月18日

横田基地の撤去を求める第53回すわりこみ行動参加者一同